

わたしとおこめの時間

深谷市立川本南小学校 二年
鈴木彩花

「せいまいき、行くよー。」

わたしと妹のブームは、せいまいへ行くことです。おじいちゃんとおばあちゃんとお父さんが作ってくれたおこめを、この前はじめて、妹とわたしはお父さんにせいまいにつれて行ってもらいました。

げんまいを、せいまいきにゆつくり入れてこめぶくろに入れるために、ペダルを妹といっしょにふむと、「ジャー」とおこめがたくさん出てきました。さわってみると、おこめはあたたかくて、サラサラの真っ白い、まるで雪みたいなおこめになって出てきました。

ペダルをふむだけで、ちゃ色かったおこめが白いおこめにへんしんするのが、びっくりしてたのしいです。

おもたいこめぶくろを、大切にだっこしてお母さんに、もってかえりました。

お母さんが、

「まっけたよ。たからものみたいにもってるねー。ありがとう。」

と、わらいました。

おばあちゃんが、

「せいまいしたてのおこめがーばんおいしいんだよ。」

と、言っていたので、その日のごはんは、早くたけないか、まちどおしくて時けいとにらめっこしました。

ふわふわで、おもちみたいいなねばりけがあるおいしいごはんをわたしと妹はおかわりをして、たべてピカピカになったおちやわんを見せっこしました。

こめびつのおこめがすくなくなると、妹と

「あとちよっどおこめなくなるね。」

と、そわそわしてきます。

せいまいも、ごはんがたけるのをまつのも、ほかほかごはんをたべるのも、わたしの大好きな時間です。